



しあわせ信州

参考資料 1

地域の公共交通リ・デザイン実現会議 とりまとめ骨子（案）等に対する意見

（第5回地域の公共交通のリ・デザイン実現会議提出資料）

令和6年4月5日
長野県知事 阿部 守一

地方公共団体の立場から、本会議のとりまとめ等にあたり重要と考える点は以下のとおり。
(※これまでに提案した内容を含む。)

1 自家用有償旅客運送等

- 自家用有償旅客運送や自家用車活用事業（いわゆる日本版ライドシェア）について、地方自治体の主体的な判断で導入できるような仕組みにすべき。

2 地域の公共交通リ・デザイン実現会議とりまとめ骨子（案）

（1）総括的事項

- これまで、交通分野と様々な分野の連携・協働や多様な関係者による共創等について議論してきた内容が総括的にまとまっていると評価。
- 地域公共交通の充実・発展のためには、交通に関する財源や権限をこれまで以上に地方公共団体に委ね、各地方公共団体が事業者や住民との共創のもと、事業者間の調整や交通事業の主体的な経営に責任を持って関与することが重要である。
そのため、補完性の原理を踏まえて、市町村、都道府県、国の交通政策に関する責任・権限及び財源のあり方を再構築することにより、地域交通に関する司令塔機能の所在と役割を明確にすることが必要である。

（2）今後の課題

- 地域交通に係る安定的な財源の確保、運賃割引に対する国の関与、データの利活用等における統一的なルールの整備、制度の見直しや柔軟化等については、今後の課題に位置付けられているが、継続的な議論を行い、早急に結論を得るよう努めること。